

### ③ 2013年度 報告編

1	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	活動所感	85
2	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	事業報告	86
3	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	収支決算書	102
4	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	財務諸表	104
5	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	監査報告書	108
6	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	役員一覧	109
7	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	組織図	110
8	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	委員会配属一覧	111
9	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	出向者一覧	112
10	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	特設委員会	113
11	2013年度	公益社団法人乙訓青年会議所	褒賞受賞者	114



2013年度は節目となる35周年の前年であり、又、来たる40周年に向けての組織目標を明確にすべく今一度メンバー全員が創始の原点を振り返り、先輩諸兄が作り繋げてきた地域からの信頼と素晴らしい理念を継承し活動して参りました。「直心熱動」をスローガンに掲げ、どんな状況でも全てに対し学ぶ心を持ち、私心にとらわれず受け入れ、自分を信じ真っ直ぐな心で勇猛果敢に熱動する事により、誇り高く青年会議所活動に取り組む事が出来ました。

公益社団法人3年目を迎え、乙訓青年会議所が乙訓地域にどれだけの活力をもたらす事が出来るのかを今一度考察しました。ただ単なるひと集めや、利益のみを求めるイベント等の開催は青年会議所が掲げる公益の理念には該当しません。地域の中核団体として、乙訓青年会議所の理念、乙訓地域の発展への願いが一致する活動並びに事業の開催こそが1979年発足時以来の変わることの無い理念であると、青年会議所の名の通り多くの時間を費やし会議を重ねて参りました。市民向けのオープン例会、乙訓水辺フェスティバル、乙訓ふるさとふれあい駅伝等事業の開催は今後名前、内容は変わることがあっても、乙訓地域の方々と共に作り上げ発展させて行く理念が変わることはありません。

対内に於きましては、次代へ繋げようJAYCEEの誇りをテーマに、自覚と誇りを持ち一年間勇猛果敢にメンバーは活動してくれました。時には悩み、活動から目を背けたくなった事があったと思います。例会、事業、各種会議において、友人や後輩に支えられ己の信念を最後まで貫いてくれたメンバーは紛れもないJAYCEEであり、今後の青年会議所活動、仕事、家庭の発展に繋がると確信しております。新5カ年行動指針の最終年度を迎え、この5年間の活動を検証し、次代へ向けた新たな指針の考察する事が34年目の使命であり、2020年ビジョンの達成に向けて乙訓青年会議所が歩んできた道を、より大きな歩みへと導く方向性をつける必要がありました。その為にメンバー一人ひとりが、私達は何の為に活動をし、何に向かっているのかを再認識する事から始め、新たな行動指針を策定し次年度以降への礎を築く事に繋がったと確信しております。

最後になりますが、2013年度は「過去、現在、未来」全て一本の線で繋げる使命を見事に遂行出来た一年だと考えております。素直な心で熱い想いを持って取り組み、仲間、地域に感動を与え、青年会議所の理念を次代へ継承し、地域へ発信する事が出来ました。私は乙訓青年会議所第34代理事長として皆様と共に活動したこの2013年は人生において忘れる事の出来ない経験となりました。皆様は2013年度の活動の経験を多くの場所で発展させ、継承して下さい。青年会議所活動にノーサイドはありません。本当に一年間ありがとうございました。

## 2013年度 公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告

### 通常総会

月 日	場 所	議 題
1.30	長岡京市立中央 公民館 3階 市民ホール	1. 2012年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 事業報告書（案）に関する件 2. 2012年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 収支決算書（案）に関する件 3. 2013年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 第2次収支予算書（案）に関する件

一般 5名    出席人数 48名    委任状提出者 23名  
欠席者 1名

### 第1回臨時総会

月 日	場 所	議 題
9.25	長岡京市立総合 交流センター 3階中央生涯学 習センター メインホール	1. 2014年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 役員選任（案）に関する件

一般 0名    出席人数 49名    委任状提出者 29名  
欠席者 4名

### 第2回臨時総会

月 日	場 所	議 題
12.4	長岡京市立総合 交流センター 3階中央生涯学 習センター メインホール	1. 2014年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 組織図（案）に関する件 2. 2014年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 事業計画（案）に関する件 3. 2014年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 委員会・会議体活動計画（案）に



2013年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2013/12/14
------------	------	-----	-----	------------

会議・委員会	会員交流委員会	議長・委員長	嶋田年比子
事業名	1月例会・新春交歓会		
実施日時	2013年1月8日		
実施場所	ハイアットリージェンシー京都		

事業目的	公益法人格取得3年目を迎え、地域に根ざす活動を継続していく団体として、また、次年度記念すべき35周年を迎えるにあたり、気持ち新たに感謝の気持ちを地元行政、特別会員、他LOMの皆様にご伝えると共に、本年度の乙訓青年会議所の方向性をご理解して頂き、「明るい豊かな社会」の実現に向け皆様方と共に活動を行う一助となる事を目的とする。また、地元行政を含め、特別会員、他LOMの皆様と交流を深める事を目的とする。
------	--

事業の内容	<p>《1月例会》 1月例会では理事長に新年のご挨拶と共に1年間の所信をお話し頂き、1年間の方向性を理解して頂く。また、参加して頂くメンバーや、他LOMメンバーの皆様にご紹介をし、メンバーを知って頂いた。</p> <p>《新春交歓会》 新春交歓会ではメンバー全員の協力を頂き、地元行政、特別会員、他LOMメンバーの皆様と交流を深めた。</p>
-------	---

目的達成の検証	目的に達した点	岡村理事長に年頭のご挨拶を頂き、出席者に1年間の方向性を理解して頂く事が出来た。委員会紹介で委員会ごとに登壇頂き、委員長に1年間の抱負を述べて頂いた事で、対内、対外に乙訓青年会議所の委員会と役割を理解して頂く事が出来た。また、新春交歓会では、来賓の皆様、他LOMメンバーの皆様と懇親を深め、相互の協力関係をより親密な関係にする事が出来た。
	達目しなかった点	特になし

今後の展望	1年間、岡村理事長の方向性を理解し、メンバーが一丸となって取り組む事が出来ると考えられる。
-------	---

参加動員数	計画	一般	42	結果	一般	40
		JC会員	128		JC会員	129
		合計	170		合計	169
予算	内部事業資金	¥410,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥410,000
決算	内部事業資金	¥404,780	外部導入資金	¥0	決算合計	¥404,780

2013年度事業報告		事業区分	その他	作成日	2013年4月10日	
会議・委員会		会員拡大委員会		議長・委員長	南出 高志	
事業名		2月例会				
実施日時		2013年2月14日				
実施場所		大山崎町立中央公民館 1階 ホール				
事業目的		乙訓青年会議所メンバー全員が青年会議所活動の魅力を再認識し、その魅力を気概と情熱を持ち発信する事が会員の拡大に繋がる事を理解頂き、メンバー全員で目標達成に向け邁進頂く事を目的とする。				
事業の内容		第1部 委員会発表では乙訓青年会議所の今後3年間の会員減少状況を理解した上で問題点を抽出し、会員拡大を行う重要性を再認識頂き。そして、会員拡大をLOM全体で行い目標達成するには、青年会議所活動の魅力をメンバー一人ひとりがもう一度見つめ直し対外へ発信する必要がある事を伝えた。第2部では会員拡大委員会経験者の方々が過去どのように活動されたかを発表して頂き、そして更なる会員拡大に向けて今後改善しなければならない点、目標達成には何が重要かをディスカッションで議論して頂きメンバー全員に認識して頂いた。第3部では理事長より会員拡大に対する熱い想いを伝達頂く事で、LOM全体で会員拡大活動を行う気概を持って頂いた。第4部では委員会毎でグループディスカッションして頂き、各々の考える会員拡大に対して必要な事、目標人数を話し合っ頂き各テーブルで発表して頂いた。				
目的達成の検証	目的に達した点	<p>魅力を再認識して頂いた事で、今後の青年会議所活動がより意義のあるものとなり、その魅力を対外へ発信する事で会員拡大の一助となる事を理解して頂く事が出来た。</p> <p>会員拡大活動はメンバー全員で拡大の意識を持って活動しなければならない事を再認識して頂く事が出来た。</p> <p>メンバー全員の会員拡大活動に対する意識を一層向上する事が出来、LOM全体で会員拡大を行わなければならない事をしっかりと理解して頂け意識統一を図る事が出来た。</p>				
	達目的になかった点	なし				
今後の展望		本事業でメンバーが共有した理念は、会員拡大活動の成功により意味を持たせません。その為には我々委員会がLOMの先頭を切り活動に邁進する事であると考えます。会員の拡大は当然の事として、新入会員が次代の乙訓青年会議所の中心メンバーとなれますよう、そして必ずや2月例会開催が成功であったと皆様で分かち合えるよう、委員会活動を一致団結して努めます。				
参加動員数	計画	一般		結果	一般	1
		JC会員	62		JC会員	50
		合計	62		合計	51
予算	内部事業資金	¥6,700	外部導入資金	¥0	予算合計	¥6,700
決算	内部事業資金	¥6,584	外部導入資金	¥0	決算合計	¥6,584

2013年度事業報告	事業区分	公3	作成日	2013/4/11
------------	------	----	-----	-----------

会議・委員会	人間力向上委員会	議長・委員長	山東尚史
事業名	3月3LOM合同オープン例会		
実施日時	2013年3月14日(木)		
実施場所	長岡京市中央生涯学習センター3階 メインホール		

事業目的	青年会議所の例会に地域の方々にご参加して頂き、より良い人間関係を築く為に洞察力について学び、人間力を向上させる必要がある。このような人物が増える事で、明るい豊かな乙訓(まち)の実現へと近づくという乙訓青年会議所の考えを理解して頂く事を目的とする。
------	---

事業の内容	<p>【講演】 講師:喜田 寛(きだ ひろし)氏</p> <p>【講演】 テーマ:より良い人間関係を築く為の洞察力 ~人の為に行動出来る人物へ~</p> <p>内 容: ・洞察力を磨く為に、日常の生活から周囲で起こっている事について深く考える事が重要である事を知って頂く。 ・知識や経験の積み重ねが重要である事を知って頂く。 ・人との深い関わりで、相手が求める事を洞察する事が出来る事を知って頂く。 ・人間力を向上させる為に、本質を見抜く洞察力が重要である事を知って頂く。 ・参加者がスピーチした内容を喜田氏に洞察して頂き、その人の良い点、問題点を聞く事で洞察力を実感して頂く。</p> <p>【委員会まとめ】 ・より良い人間関係を築く為には、周囲で起こっている事を思慮深く考え、本質を見抜き、相手の為に行動する事が必要である事を伝える。 ・人間力を向上させる為に、洞察力を磨くことが重要であり、それが明るい豊かな乙訓(まち)の実現に繋がる事を伝える。</p>
-------	--

目的達成の検証	目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洞察力を身に付ける為には、相手の目を見て、心から話し、関わり続ける事が重要である事を知って頂けた。</li> <li>・挑戦する事を恐れず、成功するまで行い続ける事が洞察力を養う要因である事を知って頂けた。</li> <li>・まず相手の長所を言う事で心をほぐし、人間関係を円滑にする事が出来る。その後に課題があればそれを伝える事で相手にとって更なる成長があるという事を知って頂けた。</li> <li>・委員会まとめて対外と対内向けに、今後の活動や生活でより良い人間関係を築く為に洞察力を磨く努力をしていかなければならない事をお伝え出来た。</li> <li>・相手を思い、求めるものに対し行動する事が、人間力向上の一助となる事を知って頂けた。</li> </ul>
	達目的になかった	一般の参加者が少なかった。

今後の展望	1年間を通じ同じテーマで例会を行う場合はすべての例会に来て頂く必要があり、実現するには1回目の例会が重要である。
-------	--

参加動員数	計画	一般	120	結果	一般	33
		JC会員	117		JC会員	101
		合計	237		合計	134
予算	内部事業資金	¥380,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥380,000
決算	内部事業資金	¥373,138	外部導入資金	¥0	決算合計	¥373,138

2013年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2013/6/30
------------	------	-----	-----	-----------

会議・委員会	JC運動情報委員会	議長・委員長	崔 祥龍
事業名	4月メモリアル100%出席例会		
実施日時	2013年4月11日(木)		
実施場所	長岡京市立中央公民館 3階 市民ホール		

事業目的	(対外) 無 (対内) 100%出席例会によって会員全員で乙訓青年会議所の設立を祝い、「明るい豊かな社会の実現」に向けて歩んで来た活動の歴史を知る事で、自覚と誇りを持ち、今後の更なる活発な活動に繋げる事を目的とする。
------	---

事業の内容	<p>【メモリアルセレモニー】</p> <p>邑楽飛竹会会長より祝辞・乾杯 【入会式】(担当:会員拡大委員会) 邑楽飛竹会会長よりJCバッジ授与</p> <p>【委員会発表】 時 間:31分 テーマ:「乙訓青年会議所の歴史を知る」 ～33年間の想いを知る～ 発表者: 中路幹事、岩井(泉)委員、黒川委員 内 容: ・中路幹事の進行で、二人の委員会メンバーと掛け合いながら、年表などの映像を用い歴史を辿る。 ・乙訓青年会議所の創始の精神と、諸先輩方が活動されて来た歴史を学ぶ。 ・諸先輩方の出演映像を見て、活動が行われて来た当時の活動に対する想いを知る。</p> <p>【グループワーク】 時 間:48分 テーマ:「乙訓青年会議所会員としての自覚と誇り」 ～想いを引き継ぎ未来へ。輝く乙訓(まち)の為に。～ 司会進行:堤委員 内 容: ・乙訓青年会議所に関わりのある方のインタビュー映像を見て、我々の活動が地域の方々からの負託に応え信頼されている事を認識し、会員としての自覚と誇りに繋げる。 ・乙訓青年会議所会員としての自覚と誇りについて、記入用紙に記入後、テーブル毎にグループワークを行う。 ・委員会メンバーの誘導により書記と発表者を決め、グループワークを通して意見を出し合って話し合い、グループ毎に話し合ったまとめを発表する。テーブル毎に発表された内容は正会員メールにて配信します。</p> <p>【委員会まとめ】 時 間:5分 発表者:谷口(直)副委員長 内 容: ・33年間の歴史を知り、青年会議所活動が出来る事に感謝する気持ちをお伝えする。 ・会員としての自覚と誇りを持ち「明るい豊かな社会の実現」の為に志を受け継ぐ重要性をお伝えする。 ・会員皆で例会に参加し、また乙訓青年会議所の設立を祝う事によって結束を固める事が出来た。</p>
-------	---

目的達成の検証	点目的に達した	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー全員で100%出席を目指し会員同士が協力する事で、会員同士の絆が深まった。</li> <li>・乙訓青年会議所会員が共通の歴史認識を共有する事が出来、今後の地域に貢献出来る青年会議所活動の一助となった。</li> <li>・グループワークでは委員会毎で議論し、お互いの考えを知る事で相互理解が出来、今後の活発な活動の一助となった。</li> <li>・自覚と誇りを持ち周りへの感謝を忘れず、活発な青年会議所活動を行う事で、今後も元気な乙訓青年会議所が存続して行く一助となった。</li> </ul>
	点か達目つしたたに	・映像の音声が聞き取りづらい点があった。聴きやすい音声であったならより良く先輩方のお話を聞いて頂き学びがあったと考える。

今後の展望	明るい豊かなまちの実現の為に、青年会議所の歴史を知り、青年会議所活動が出来る事に感謝する気持ちと、会員としての自覚と誇りを持つ為にこのような例会を定期的に開催する必要がある。
-------	---

参加動員数	計画	一般	2	結果	一般	7
		JC会員	73		JC会員	71
		合計	75		合計	78
予算	内部事業資金	¥22,500	外部導入資金	¥0	予算合計	¥22,500
決算	内部事業資金	¥22,243	外部導入資金	¥0	決算合計	¥22,243

2013年度事業報告		事業区分	その他	作成日	2013年7月10日	
会議・委員会		総務財政委員会		議長・委員長	加藤 裕之	
事業名		5月例会				
実施日時		2013年5月19日(日)				
実施場所		ガレリアかめおか 研修室3・4				
事業目的		メンバー一人ひとりがブロック大会の意義を理解し、多くの学びや気づきを得られる事や、共に歩みを進める同士との友情を構築出来る事を認識し、ブロック大会に臨む心構えを作る事を目的とする。				
事業の内容		<p>【第41回京都ブロック大会参加に向けての主旨説明】          内 容:メンバーが一番身近な日本青年会議所の運動であるブロック大会に参加する事によって、ブロック大会だからこそ得られる学びや気づきがある事を伝える。</p> <p>【出向者スピーチ】          内 容:ブロック大会で活躍したメンバーに、ブロック大会で得られた事、その後の青年会議所活動に役立った事を話して頂き、ブロック大会で得られる学びや気づきがある事を認識し、ブロック大会に臨む心構えをメンバーに伝える。          発表者:三浦副委員長、水原副委員長</p>				
目的達成の検証	目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック大会前に例会を行う事で、多くのLOMメンバーでブロック大会に参加する事を目指していたが、日曜という事もあり予定が詰まっている方も一定数おられ、それほど多くの動員には繋がらなかった。</li> <li>・ブロック大会前にブロック大会の趣旨を理解する事により、より一層の学びの姿勢を持つ事が出来た。</li> <li>・例会後の夜まで開催されるブロック大会を多くのメンバーで参加する事により、メンバー間により強固な連帯感が生まれ、より一層の魅力ある組織となる一助となった。</li> </ul> ブロック大会がメンバーにもたらす有益性を改めて認識して頂く機会となった。				
	達成しなかった点	無し				
今後の展望		ブロック大会開催日に乙訓の地を離れて例会を開催する事は、時間の制約や設えの問題等があり、開催地により例会を同日に開催する事が出来ない可能性もあります。しかし、多くのメンバーと一緒にブロック大会に参加する事が出来、多くの学びや気づきを一日で得る事が出来る素晴らしい機会になると思います。時間的に許されるのであれば、今後もブロック大会と同日に例会を行う事を一考して頂ければと思います。				
参加動員数	計画	一般	0	結果	一般	0
		JC会員	63		JC会員	48
		合計	63		合計	48
予算	内部事業資金	¥5,100	外部導入資金	¥0	予算合計	¥5,100
決算	内部事業資金	¥4,974	外部導入資金	¥0	決算合計	¥4,974

<b>2013年度事業報告</b>		事業区分	公2	作成日	2013/9/23	
会議・委員会		まちづくり委員会		議長・委員長	河村 剛	
事業名		6月オープン例会				
実施日時		2013年6月13日				
実施場所		長岡京市中央公民館3階市民ホール				
事業目的		郷土を愛する心や相互扶助の精神を学ぶ事で、自分達の住んでいる地域を良くしていこうという思いが生まれ、自主的に地域貢献活動に取り組んで頂く事を目的とする。				
事業の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達の住む地域に感謝し、地域を良くしようという思いを持つ事の必要性に気付いて頂く。</li> <li>・郷土を愛する事で私達は幸せになれ、郷土が与えてくれる恵がある事で、ひとは生かされている事を学んで頂く。</li> <li>・日本人が大切にしてきた相互扶助の精神やひととひととの関わり合いの大切さを学んで頂く。</li> </ul>				
目的達成の検証	目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達が住む地域を大切に思い、郷土愛を持つ事でよりよいまちづくり活動に繋がる事を学ぶ事が出来た。</li> <li>・相互扶助の精神を学ぶ事で、お互い助け合い生きて行く中で、コミュニケーションが生まれる事を学ぶ事が出来た。</li> <li>・我々一人ひとりが関わり合いを持ってまちづくり活動を行う事が、乙訓地域全体の地域の活性化や地域コミュニティの拡大に繋がる事を学ぶ事が出来た。</li> </ul>				
	達目的になかった点	参加動員計画に及ばなかった点				
今後の展望		まちづくり委員会では、乙訓水辺フェスティバル向け、実際に自然や歴史、文化感じて頂き郷土愛を育てて頂けるように、まちづくり委員会一枚岩となって邁進して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。				
参加動員数	計画	一般	100	結果	一般	72
		JC会員	63		JC会員	59
		合計	163		合計	131
予算	内部事業資金	¥51,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥51,000
決算	内部事業資金	¥51,000	外部導入資金	¥0	決算合計	¥51,000

<b>2013年度事業報告</b>		事業区分	公1	作成日	2013/8/7	
会議・委員会		青少年育成委員会		議長・委員長	川口 順也	
事業名		7月オープン例会				
実施日時		2013年7月11日(木)				
実施場所		長岡京市中央公民館3階市民ホール				
事業目的		現代の青少年問題が決して他人事では無い事をしっかりと認識し、子ども達の健全な育成には家庭内で子ども達と向き合う努力を怠らずにコミュニケーションを図り、社会道徳をしっかりと伝える事が重要であると理解して頂く事を目的とする。				
事業の内容		「心の成長」～人との絡み合いで心は成長する～をテーマとし、講師に廣中邦充氏をお迎えして現代の子ども達がアンバランスな心と身体の成長に陥り易い事、また自分の価値判断がしっかりした大人が後ろ盾になる事が子どもの心の成長を促す事、また心の成長には人間同士のコミュニケーションが必要不可欠である事や社会道徳を伴った心の成長には家庭内や地域内でのコミュニケーションが大切である事をご講演頂き、委員会まとめとして親を始めとする大人が子ども達と絡み合う事が心の成長には何よりも大事であり、子ども達の健全な育成には大人が幼少時より培ってきた社会道徳を伝達する事が重要であるとお伝えしました。				
目的達成の検証	目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の子ども達がアンバランスな心と身体の成長に陥り易い事を理解して頂く事が出来た。</li> <li>・心の成長には人間同士のコミュニケーションが必要不可欠である事を理解して頂く事が出来た。</li> <li>・子ども達の健全な育成には大人が幼少時より培ってきた社会道徳を伝達する事が重要であると理解して頂く事が出来た。</li> <li>・社会道徳を伴った心の成長には家庭内や地域内でのコミュニケーションが大切である事を理解して頂く事が出来た。</li> </ul>				
	達目的になかった点	特になし				
今後の展望		青少年の健全な育成を達成する為に、またいじめを始めとする青少年関連の犯罪がたびたび発生している近年の状況を改善する為にも原因や対策を市民の方々にお伝えすべきと考えますので、引き続き青少年育成に関するオープン例会を開催すべきと考えます。				
参加動員数	計画	一般	100	結果	一般	87
		JC会員	63		JC会員	60
		合計	163		合計	147
予算	内部事業資金	¥260,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥260,000
決算	内部事業資金	¥253,620	外部導入資金	¥0	決算合計	¥253,620

2013年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2013/8/17
------------	------	-----	-----	-----------

会議・委員会	会員交流委員会	議長・委員長	嶋田年比于
事業名	8月例会・納涼会		
実施日時	2013年 8月 8日(木)		
実施場所	ANAクラウンプラザホテル京都		

事業目的	<p>【8月例会】 本年度各委員会が掲げられた方針を達成する為に、各委員会の方針を再度確認する。また、これ迄行われた各委員会の活動を検証すると共に、今後の意気込みをメンバー全員に周知して頂く。各委員長の意気込みを聞いて頂く事により、相互協力の意識を向上させる</p> <p>【納涼会】 8月迄の活動に対し労をねぎらい、懇親を深め、メンバー全員が一丸となって後半を迎える事が出来る絆を構築する。</p>
------	--

事業の内容	<p>【8月例会】 今年度、各委員会が掲げられた委員長方針を確認し、8月迄に行われた事業の検証を行います。 その後、方針達成に向けた意気込みを発表して頂きます。 事業の検証は実施された事業で掲げられた目的が達成出来たかを検証して頂きます。</p> <p>《手 法》 ・各委員会の実施された事業を映像で紹介した後、職分をスクリーンに投影。(1分×6委員会・1会議体) ・当委員会のコーディネーター役より、目的達成・動員の検証(反省点と改善点)について質問。(3分×6委員会・1会議体) ・事業目的達成・動員に関して振り返りを発表。 ・今後の方針達成に向けた意気込みを発表しメンバー全員に協力を要請。(1分×6委員会・1会議体) ※登壇・降壇(1分×6委員会・1会議体) 発表者:加藤委員長・川口委員長・河村委員長・崔委員長・山東委員長・南出委員長・伊東議長 ・委員会まとめ 池宮副委員長(5分) ・8月迄に行われた事業を検証する事により、今後行われる乙訓青年会議所の活動をより素晴らしい物に出来る事を認識して頂き、今後の活動に活かして頂きます。 ・各委員会で協力し、一枚岩となって活動する大切さを理解して頂きます。</p> <p>【納涼会】 8月迄の活動に対しメンバー全員で労をねぎらい、懇親を深め、メンバー全員が一丸となって後半を迎える事が出来る絆を構築して頂きます。(司会:池宮副委員長・能見幹事)</p> <p>《手 法》 各委員会別にダーツ(ゲーム)で点数を競い、シュプレヒコールの順番を決めて頂きます。 シュプレヒコールの前には、委員会が今後行う事業や活動の意気込みをまとめて頂き、副委員長に発表して頂きます。その後メンバー全員参加でそのシュプレヒコールを行います。(3分×7委員会・1会議体)</p>
-------	---

目的達成の検証	目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>各委員会のこれまで行われた事業や活動を検証する事で、活動に対する改善点を見出す事が出来た。</li> <li>各委員長から今後のお意気込みをお話頂く事で、メンバーの意識向上に繋がる一助になった。</li> <li>FTメンバーにも乙訓青年会議所の全体的な事業を知って頂く事が出来た。</li> <li>後半全ての事業を知る事になり、今後の出席率向上へ繋がる一助になった。</li> <li>各委員会ごとに意気込みをシュプレヒコールで周知する事によって、全メンバーへの意識刷り込みが出来た。</li> <li>LOM全員で懇親を深める事で、今後の活動に向け絆を構築し、一枚岩となる一助になった。</li> </ul>
	点か達目つしたに	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営の不備から、途中メンバーの聴く意識を低下させる事になってしまった。</li> </ul>

今後の展望	<p>振り返りを行う本例会では、いかに短時間で、事業や活動内容と反省点、達成点を理解して頂き、今後の事業に反映出来るかと言う事を理解して頂く事がポイントとなる。委員長登壇時に映像で事業を紹介したが、議案を基にパワーポイントなどで、理解しやすい資料を作成し、それに基づいて進めると言う様な手法も考えられると思いました。ただし、時間と場所や事前準備を考慮する必要があるため、その辺りが重要なポイントになる様に思います。</p>
-------	---

参加動員数	計画	一般	0	結果	一般	2
		JC会員	64		JC会員	64
		合計	64		合計	66
予算	内部事業資金	¥98,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥98,000
決算	内部事業資金	¥96,284	外部導入資金	¥0	決算合計	¥96,284

2013年度事業報告	事業区分	公3	作成日	2013/9/23
------------	------	----	-----	-----------

会議・委員会	人間力向上委員会	議長・委員長	山東尚史
事業名	9月オープン例会		
実施日時	2013年 9月12日(木)		
実施場所	長岡京市中央生涯学習センター3階 メインホール		

事業目的	人間力向上の為に必要な要素である表現力について学び、普段の生活や仕事等の場面に於いて、自分の心からの思いを伝える表現力が目的を達成する為に重要であると理解して頂く事を目的とする。
------	---

事業の内容	<p>【講演】  講師:林 修(はやし おさむ)氏  時間:75分  テーマ:相手に伝わる表現力～すべては乙訓(まち)とひとの為に。～いつやるか、今でしょ!  内容:  ・相手の状況や変化に応じて伝わる(理解出来る)言葉を使い、表現する事が重要である事を知って頂く。  ・地域活動や仕事上に於いて、相手にとって魅力のある人物になる事で、発する言葉が心に響くという事を知って頂く。  ・5W1H(WHEN WHO WHAT WHERE WHY HOW)を考え、相手に表現するタイミングが重要である事を知って頂く。  ・感心させる為だけではなく、行動に移してもらおう為の表現力が重要である事を知って頂く。</p> <p>【委員会まとめ】  時間:7分  発表者:三浦副委員長  ・3月3LOM合同オープン例会を振り返りお伝えする。  ・自分の事や活動する団体の事を知って頂く為に、相手に伝わり易い表現力が重要である事をお伝えする。  ・相手や企業、地域の目標達成の為に高い表現力を身に付ける事が人間力向上に繋がる事をお伝えする。</p>
-------	--

目的達成の検証	目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット等で発信する事が簡単になった現在に於いて、表現の仕方次第で自分の思いを実現させる事が出来る事を知って頂けた。</li> <li>・相手にとって魅力のある人物になる事で、言葉に説得力が帯び、聞き入れてもらい易い状況になる事を知って頂けた。</li> <li>・相手の行動パターンを考え、相手の好むコミュニケーションの方法を使う事で、思いを伝え易くなる事を知って頂けた。</li> <li>・相手によって、自分の伝える言葉を固定せずに表現する方法を選択する事が重要である事を知って頂けた。</li> <li>・相手や地域の事を考え、その時代に即した表現する事が重要である事を知って頂け、それが人間力向上の一助になる事を知って頂けた。</li> </ul>
	点か達目 つした たに	なし

今後の展望	1年に3回の例会を担当する委員会に於いては、その繋がりが重要である。また、オープン例会に於いて、JCメンバーだけでなく一般の方々に興味を持って頂く内容にする為に講師の選定も重要であり、内容等の打ち合わせも重要である。
-------	--

参加動員数	計画	一般	250	結果	一般	264
		JC会員	68		JC会員	64
		合計	318		合計	328
予算	内部事業資金	¥500,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥500,000
決算	内部事業資金	¥488,153	外部導入資金	¥0	決算合計	¥488,153

2013年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2013/10/19
------------	------	-----	-----	------------

会議・委員会	ビジョン会議		議長・委員長	伊東紘典
事業名	10月例会			
実施日時	2013年10月10日(木)			
実施場所	長岡京市立中央公民館 3階 市民ホール			

事業目的	35周年事業の重要性を伝え、35周年に向けての意識を高める事を目的とする。また、2020年ビジョン「地球市民意識あふれる乙訓(まち)」の実現に向け、乙訓青年会議所として変わる事の無い理念とこれからの求められている課題についてLOM全体で共有する事によって、本例会で提案する新たな5カ年行動指針の理念をメンバー全員が理解し、意識統一出来る事を目的とする。
------	--

事業の内容	<p>【講演】「30周年歴代理事長からのメッセージ」  時間:30分  講演者:第30代理事長田原尚樹先輩  ・30周年を経験された理事長だから解る、周年事業の意義や重要性を伝えて頂く。  ・35周年に向け、現役メンバーに激励を頂く。</p> <p>会議体まとめ  時間:5分  発表者:山本副議長  ・今後の青年会議所活動をより効果的に遂行出来る事をお伝えする。  ・新たな5カ年行動指針の草案を発表して、それ等の共有によりメンバー全員の意識統一が出来る事をお伝えする。</p>
-------	--

目的達成の検証	目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・35周年事業迎えるにあたり、30周年事業の映像を用いて説明する事で、メンバー様に周年の意義、目的を知って頂けた。</li> <li>・30周年理事長に講演して頂く事により周年事業の意義と重要性を伝えて頂く事により乙訓青年会議所メンバーが意識統一する事が出来た。</li> <li>・新5カ年行動指針の検証を行う事で問題点や取り組むべき課題を全員が共有し問題意識を持つ事が出来た。</li> <li>・新たな行動指針を発表する事で、乙訓青年会議所のメンバーに意識統一ができ、更なる組織の発展に繋がる事が出来た。</li> </ul>
	か達目つした点	なし

今後の展望	今回の例会により35周年事業を迎えるにあたりメンバーの皆様に周年の意義、目的を知って頂けると共に、30周年理事長の講演を通して、乙訓青年会議所メンバーの意識を統一する事が出来た。また、新5カ年行動指針の検証並びに新たな行動指針を発表する事で問題点や取り組むべき課題を明確にし、全員で問題意識を共有する事が出来た。今回の10月例会で得られた成果は今後乙訓青年会議所が2020年ビジョンを達成し、地域の発展を担う団体として行動していく為の重要な礎になると考えられる。特に30周年事業を経験しておらず、2020年ビジョンについても理解が深くない若いメンバーがこの例会および1年間の勉強会を通して自らが所属する乙訓青年会議所の方向性を考え、問題意識を持つ事でこれからの乙訓青年会議所を自ら率先して導いてくれるものと期待される。また、来る35周年事業では全員が「感謝」を持って来られる方々をお迎えする事が出来るものと考えられる。
-------	---

参加動員数	計画	一般	1	結果	一般	7
		JC会員	70		JC会員	53
		合計	71		合計	60
予算	内部事業資金	¥25,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥25,000
決算	内部事業資金	¥24,348	外部導入資金	¥0	決算合計	¥24,348

2013年度事業報告	事業区分	公3	作成日	2013/11/28
------------	------	----	-----	------------

会議・委員会	人間力向上委員会	議長・委員長	山東尚史
事業名	11月オープン例会		
実施日時	2013年11月14日(木)		
実施場所	長岡京市中央公民館 3階メインホール		

事業目的	本質を見抜く洞察力、自己の表現能力を磨き、さらに心からひとを思い主体的に行動する事で人間力が向上し、地域や自身の仕事、家族の為に行動出来る利他の精神を持った人物になって頂く事を目的とする。
------	--

事業の内容	<p>【振り返り・講演・委員会まとめ】  (3月・9月のオープン例会の振り返り)  ・3月3LOM合同オープン例会を映像を用いて振り返る。  ・9月オープン例会を映像を用いて振り返る。</p> <p>(講演)  講師: 四方 啓暉 氏(しかた よしあき)  テーマ: 「ひと」の為の「心」を尽くす行動力～そして、人間力向上へ～</p> <p>内 容:  ・リッツ・カールトンで行われているホスピタリティを学ぶ。  ・主体的に行動する為には、組織内に於ける信頼関係について学ぶ  ・相手が望む事とは何かを考え、主体的に行動する事の重要性を知って頂く。  ・言われた事を忠実にやるだけではなく、前向きに自分なりに工夫して主体的に行動する事が重要である事を知って頂く。</p> <p>(委員会まとめ)  ・「ひと」「心」「信頼関係」が伴った行動力が重要である事をお伝えする。  ・自身の仕事や地域活動が今の状況に合い、相手が求めている事を行動する事が重要である事をお伝えする。  ・本質を見抜く洞察力、自己の表現能力、主体性のある行動力を身に付ける事の重要性をお伝えする</p>
-------	--

目的達成の検証	目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に満足してもらう為には、当たり前的事をするだけでなく、望む以上の事を行う必要がある事を知って頂けた。</li> <li>相手に満足して頂く事で、こちらのやる気が上がり、誇りを持って活動出来る様になる事を知って頂けた。</li> <li>要望を言われる前に主体的に行動する事が信頼関係の構築に繋がる事を知って頂けた。</li> <li>行動の指針を共有する事で、組織として質の高いサービスを行う事が出来る事を知って頂けた。</li> </ul> <p>本質を見抜く洞察力、自己の表現能力、主体性のある行動力を身に付ける事で人間力を向上させ、それを仕事や地域活動、家族の為に役立てる事が重要である事を知って頂けた。</p>
	た達目的しなかつ	なし

今後の展望	1年間を通じ同じテーマで例会を行う場合はすべての例会に来て頂く必要があり、実現するには1回目の例会が重要である。
-------	--

参加動員数	計画	一般	120	結果	一般	66
		JC会員	70		JC会員	62
		合計	190		合計	128
予算	内部事業資金	¥305,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥305,000
決算	内部事業資金	¥297,568	外部導入資金	¥0	決算合計	¥297,568

2013年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2013年12月25日
------------	------	-----	-----	-------------

会議・委員会	総務財政委員会	議長・委員長	加藤 裕之
事業名	12月例会		
実施日時	2013年12月12日(木)		
実施場所	長岡京市立中央公民館 3階 市民ホール		

事業目的	岡村理事長の掲げられた「直心熱動」のスローガンのもとで活動して来た1年を振り返り、メンバー一人ひとりが本年度の活動成果を確認し功績を讃え合う事で、次年度へ向けての意識を更に高めて気持ちを一つにして頂く事を目的とする。
------	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長挨拶 内容: 岡村理事長より1年間の活動を振り返って頂き、活動成果を総括して頂く。</li> <li>・褒賞授与式 内容: 本年度に顕著な活躍をされた個人及び団体を讃え表彰する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実質100%出席賞発表・乙訓JCグランドスラム賞発表</li> <li>・乙訓JC特別賞発表</li> <li>・特別功労賞発表</li> <li>・出向者スピーチ</li> <li>・出向者特別賞発表</li> <li>・最優秀新人賞発表</li> <li>・優秀会員賞発表</li> <li>・最優秀会員賞発表</li> </ul> </li> <li>・理事長バッジ・直前理事長バッジ交換、プレジデンシャルリース伝達式</li> <li>・理事長予定者挨拶</li> </ul>
-------	---

目的達成の検証	目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長より本年度の活動を総括して頂いた事により、メンバー全員が「直心熱動」のスローガンのもと活動してきた達成感を分かち合って本年度を締め括る事が出来、次年度へ向けての活動に気概を持つ事が出来た。</li> <li>・褒賞授与式に於いて、本年度顕著な活躍をしたメンバーを讃えるとともに、受賞理由を発表する事により、青年会議所活動に励む気概をメンバー全員が持つ事が出来、次年度以降に於いての活動に邁進し組織全体の活性化を図る事が出来た。</li> <li>・理事長バッジ・直前理事長バッジ交換並びにプレジデンシャルリース伝達式に於いて、2013年度から2014年度への引き継ぎを行い、理事長予定者より次年度の抱負を話して頂く事で、次年度へ向けての意識を高めメンバーが気持ちを一つにする事が出来た。</li> </ul>
	点か達目 つした たに	無し

今後の展望	これまでと同様に、1年間の総決算としての例会を開催する事が望ましいと考える。
-------	--

参加動員数	計画	一般	0	結果	一般	1
		JC会員	70		JC会員	58
		合計	70		合計	59
予算	内部事業資金	¥204,772	外部導入資金	¥0	予算合計	¥204,772
決算	内部事業資金	¥204,772	外部導入資金	¥0	決算合計	¥204,772

## 理 事 会

回 数	開 催 日 場 所	審 議 事 項
第1回 (予定者)	2012年10月1日(月) 向日市商工会館 第3会議室	1) 理事長所信(案)に関する件 2) スローガン・テーマ(案)に関する件 3) 基本理念・基本方針(案)に関する件 4) 会議体設置(案)に関する件 5) 会議・構成員(案)に関する件 6) 事業計画(案)に関する件 7) 組織図(案)に関する件 8) 委員会・会議体活動計画(案)に関する件 9) 委員会配属(案)に関する件 10) 事業計画書・予算書に関する件 a) 役員セミナー
第2回 (予定者)	2012年10月31日(水) 向日市商工会館 3階 大会議室	1) 委員長方針(案)に関する件 a) 総務財政委員会 b) ビジョン会議 c) 青少年育成委員会 d) まちづくり委員会 e) 人間力向上委員会 f) JC運動情報委員会 g) 会員拡大委員会 h) 会員交流委員会 2) 諸登録料(案)に関する件 3) 第1次収支予算書(案)に関する件 4) 委員会配属(案)に関する件
第3回 (予定者)	2012年11月29日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	1) 委員長方針(案)に関する件 a) まちづくり委員会 b) 人間力向上委員会 c) JC運動情報委員会 d) 会員拡大委員会 2) 事業計画書・予算書に関する件 a) 1月例会・新春交歓会 3) 事業予算支出依頼書に関する件 a) おとくに新聞

		<ul style="list-style-type: none"> <li>b) 乙訓JCホームページ</li> <li>4) 会員選考委員会設置(案)に関する件</li> <li>5) 入会基準(案)に関する件</li> <li>6) 褒賞基準(案)に関する件</li> <li>7) 委員会配属(案)に関する件</li> </ul>
第4回 (予定者)	2012年12月21日(金) 向日市商工会館 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 事業計画書・予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 乙訓JC説明会並びに新入会員募集</li> <li>b) 2月例会</li> </ul> </li> </ul>
第1回	2013年1月17日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 第2次収支予算(案)に関する件</li> <li>2) 通常総会に付議すべき事項に関する件</li> <li>3) 事業計画書・予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 2月例会</li> <li>b) 乙訓文化少年団団員募集</li> </ul> </li> </ul>
第1回 (臨時)	2013年2月7日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 事業計画書・予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 2月例会</li> </ul> </li> </ul>
第2回	2013年2月21日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 事業報告書・決算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 役員セミナー</li> <li>b) 1月例会・新春交換会</li> </ul> </li> <li>2) 事業予算支出依頼書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 第2回激辛グルメ日本一決定戦 KARA-1 グランプリ</li> </ul> </li> <li>3) 事業計画書・予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 3月3LOM合同オープン例会</li> <li>b) 4月メモリアル100%出席例会</li> <li>c) 乙訓文化少年団事業</li> </ul> </li> <li>4) 3月新入会員に関する件</li> <li>5) 新入会員委員会配属(案)に関する件</li> </ul>
第3回	2013年3月21日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 事業報告書・決算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 2月例会</li> </ul> </li> <li>2) 事業計画書・予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 4月メモリアル100%出席例会</li> <li>b) 5月例会</li> </ul> </li> <li>3) 4月新入会員に関する件</li> <li>5) 新入会員委員会配属(案)に関する件</li> </ul>
第4回	2013年4月18日(木) 向日市商工会館 3階	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 事業決算支出依頼書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 第2回激辛グルメ日本一決定戦 KARA-1</li> </ul> </li> </ul>

	大会議室	<p>グランプリ</p> <p>2) 事業報告書・決算書に関する件</p> <p>    a) 2月例会</p> <p>    b) 3月3LOM合同オープン例会</p> <p>3) 事業計画書・予算書に関する件</p> <p>    a) 6月オープン例会</p>
第5回	2013年5月16日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<p>1) 事業報告書・決算書に関する件</p> <p>    a) 4月メモリアル100%出席例会</p> <p>2) 選挙管理委員会設置(案)に関する件</p> <p>3) 5月新入会員入会に関する件</p> <p>4) 新入会員委員会配属(案)に関する件</p> <p>5) 事業計画書・予算書に関する件</p> <p>    a) 7月オープン例会</p>
第6回	2013年6月20日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<p>1) 事業報告書・決算書に関する件</p> <p>    a) 4月メモリアル100%出席例会</p> <p>2) 選挙管理委員会設置(案)に関する件</p> <p>3) 7月新入会員入会に関する件</p> <p>4) 新入会員委員会配属(案)に関する件</p> <p>5) 事業計画書・予算書に関する件</p> <p>    a) 8月例会・納涼会</p>
第7回	2013年7月18日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<p>1) 事業報告書・決算書に関する件</p> <p>    a) 5月例会</p> <p>    b) 6月オープン例会</p> <p>2) 事業計画書・予算書に関する件</p> <p>    a) 9月オープン例会</p> <p>    b) 乙訓水辺フェスティバル</p>
第8回	2013年8月12日(月) 向日市商工会館 3階 大会議室	<p>1) 事業報告書・決算書に関する件</p> <p>    a) 7月オープン例会</p> <p>2) 9月新入会員入会に関する件</p> <p>3) 新入会員委員会配属(案)に関する件</p>
第2回 (臨時)	2013年9月5日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<p>1) 第1回臨時総会に付議すべき事項に関する件</p>
第9回	2013年9月19日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<p>1) 事業報告書・決算書に関する件</p> <p>    a) 8月例会・納涼会</p> <p>2) 事業計画書・予算書に関する件</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>a) 10月例会</li> <li>b) FTセミナー</li> <li>c) 地域振興検討会</li> <li>d) 11月オープン例会</li> </ul>
第3回 (臨時)	2013年10月8日(火) 大原野自治会館 2階 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>2) 事業計画書・予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 地域振興検討会</li> </ul> </li> </ul>
第10回	2013年10月17日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 事業計画書・修正予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 乙訓水辺フェスティバル</li> </ul> </li> <li>2) 事業報告書・決算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 乙訓水辺フェスティバル</li> <li>b) 9月オープン例会</li> </ul> </li> <li>3) 事業計画書・予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 12月例会</li> <li>b) 卒業式・忘年会</li> </ul> </li> <li>4) 11月新入会員入会に関する件</li> <li>5) 新入会員委員会配属(案)に関する件</li> </ul>
第11回	2013年11月21日(木) 向日市商工会館 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 事業報告書・決算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 10月例会</li> <li>b) FTセミナー</li> <li>c) 地域振興検討会</li> </ul> </li> <li>2) 第2回臨時総会に付議すべき事項に関する件</li> <li>3) 特別功労賞・乙訓JC特別賞・出向者特別賞・最優秀新人賞・優秀会員賞・最優秀会員賞選出に関する件</li> </ul>
第12回	2013年12月19日(木) 焼き肉の弘 祇園山名庵	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 事業報告書・決算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 11月オープン例会</li> </ul> </li> </ul>
第4回 (臨時)	2013年12月25日(水) 向日市商工会館 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 事業計画書・修正予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 乙訓JC入会説明会並びに新入会員募集</li> <li>b) おとくにしんぶん</li> <li>c) 乙訓JCホームページ</li> <li>d) 12月例会</li> </ul> </li> <li>2) 事業決算・支出依頼書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) おとくにしんぶん</li> <li>b) 乙訓JCホームページ</li> </ul> </li> <li>3) 事業報告書・決算書に関する件</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>a) FTセミナー</li> <li>b) 地域振興検討会</li> <li>c) 乙訓JC入会説明会並びに新入会員募集</li> <li>d) 乙訓文化少年団募集</li> <li>e) 乙訓文化少年団</li> <li>f) 12月例会</li> <li>g) 卒業式・忘年会</li> </ul>
第5回 (臨時)	2014年1月16日(木) 長岡京市中央生涯学習センター バンビオ壱番館4階 会議室 2	1) 通常総会に付議すべき事項に関する件

## 常 設 委 員 会

1. まちづくり委員会  
(主たる事業)
  - 1) 6月例会の開催(オープン例会)
  - 2) 乙訓水辺フェスティバル事業の開催
  - 3) 広域な連携を推進するまちづくり事業の開催
  - 4) 二市一町の行政・各諸団体との連携
  - 5) 公益社団法人日本青年会議所・協働運動の連携と推進
  
2. 青少年育成委員会  
(主たる事業)
  - 1) 7月例会の開催(オープン例会)
  - 2) ケイジャーズカップ実行委員会への連携
  - 3) 乙訓文化少年団の運営
  - 4) 乙訓地方小学生駅伝大会委員会への連携
  - 5) 公益社団法人日本青年会議所・協働運動の実践
  
3. 人間力向上委員会  
(主たる事業)
  - 1) 3月例会の開催(3LOM合同オープン例会)
  - 2) 9月例会の開催(オープン例会)
  - 3) 11月例会の開催(オープン例会)
  
4. JC運動情報委員会  
(主たる事業)
  - 1) 4月メモリアル100%出席例会の開催
  - 2) 京都ブロック協議会公式訪問の開催
  - 3) 地域振興検討会の開催
  - 4) 行政地域諸団体の情報の収集及び管理
  - 5) 青年会議所活動及び地域活動の外部発信並びに会報「おとくに新聞」の制作・発行及び管理(年12回)
  - 6) 公式ホームページの制作及び管理
  - 7) LOM外情報の関する内部発信
  - 8) LOM内外各種事業の撮影と記録データ管理
  - 9) 理事長対談の取材に関する事項
  - 10) JCI・公益社団法人日本青年会議所・近畿地区協議会・京都ブロック協議会・各地青年会議所に関する案内・登録手続きに関する事項
  - 11) 出向者支援に関する事項
  - 12) 各事業案内のとりまとめに関する事項
  
5. 会員拡大委員会  
(主たる事業)
  - 1) 2月例会の開催
  - 2) FTセミナーの開催
  - 3) 会員拡大活動の実施
  - 4) 入会説明会の開催
  - 5) 異業種交流会の開催
  - 6) 各委員会への会員拡大活動の支援
  - 7) 会員拡大活動に関する情報管理と更新

- 7) 新入会員の入会に至るまでのサポート
- 8) 新入会員の入会後のサポート
- 9) 新入会員入会式の設営・運営

6. 会員交流委員会  
(主たる事業)

- 1) 1月例会・新春交歓会の開催
- 2) 8月例会・納涼会の開催
- 3) 12月卒業式・忘年会の開催
- 4) 会員交流会の開催
- 5) 会員及び特別会員との親睦に関する事項

7. 総務財政委員会  
(主たる事業)

- 1) 5月例会の開催（ブロック大会）
- 2) 12月例会の開催
- 3) 役員セミナーの開催
- 4) 総務及び庶務に関する事項
- 5) 事務局の管理運営に関する事項
- 6) 会員名簿及び基本資料の作成
- 7) LOM運営マニュアルの作成
- 8) 会員の活動報告に関する事項
- 9) 会員の褒賞・表彰及びブロック等への事業褒賞申請に関する事項
- 10) 総会及び理事会・正副理事長会議の設営・運営
- 11) 総務審査会議・財務・コンプライアンス会議の設営・運営
- 12) デジタル会議の設営・運営
- 13) 財務、会計一般に関する事項
- 14) 議案の管理に関する事項
- 15) 公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会との連携

8. ビジョン会議  
(主たる事業)

- 1) 10月例会の開催
- 2) 勉強会の開催
- 3) 35周年記念式典及び記念事業の準備
- 4) 新5カ年行動指針の検証及び次代へ向けた行動指針の構想

(監事の監査報告書謄本)

## 監 査 報 告 書

公益社団法人乙訓青年会議所  
理事長 岡村 猛 殿

平成 26 年 1 月 14 日  
公益社団法人乙訓青年会議所  
監事 齊藤 寛之 印  
監事 山下 純平 印

私たちは、公益社団法人乙訓青年会議所の平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

### 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を徴収し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

### 2. 監査意見

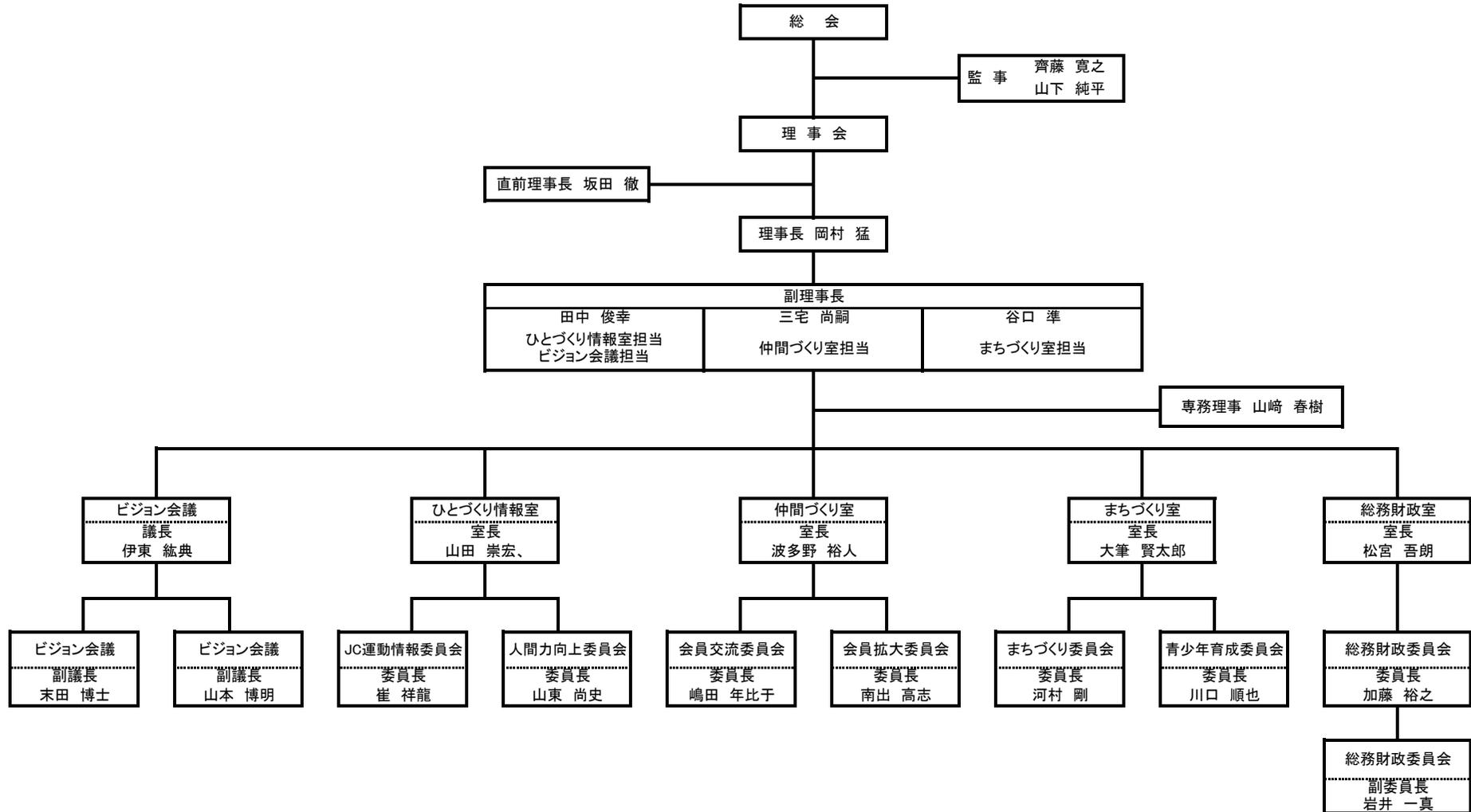
- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は事実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上

2013年度 公益社団法人乙訓青年会議所  
役員一覧

理事長	岡村 猛
副理事長	谷口 準
副理事長	田中 俊幸
副理事長	三宅 尚嗣
専務理事	山崎 春樹
理事 (ビジョン会議議長)	伊東 紘典
理事 (まちづくり室室長)	大筆 賢太郎
理事 (仲間づくり室室長)	波多野 裕人
理事 (総務財政室室長)	松宮 吾朗
理事 (ひとつづくり情報室室長)	山田 崇宏、
理事 (総務財政委員会委員長)	加藤 裕之
理事 (青少年育成委員会委員長)	川口 順也
理事 (まちづくり委員会委員長)	河村 剛
理事 (JC運動情報委員会委員長)	崔 祥龍
理事 (人間力向上委員会委員長)	山東 尚史
理事 (会員交流委員会委員長)	嶋田 年比于
理事 (ビジョン会議副議長)	末田 博士
理事 (会員拡大委員会委員長)	南出 高志
理事 (ビジョン会議副議長)	山本 博明
理事 (総務財政委員会副委員長)	岩井 一真
監事	齊藤 寛之
監事	山下 純平
直前理事長	坂田 徹

2013年度 公益社団法人乙訓青年会議所  
組織図(案)



## 2013年度 公益社団法人乙訓青年会議所 委員会配属

公益財政委員会		8	人間力向上委員会		8	会員交流委員会		8
委員長	加藤 裕之		委員長	山東 尚史		委員長	嶋田 年比于	
副委員長	岩井 一真		副委員長	三浦 靖		副委員長	池宮 陽一	
幹事	大塚 健介		幹事	中川 浩司		幹事	能見 太郎	
委員	岩本 賢二		委員	石井 佑典		委員	塩見 知哉	
委員	奥村 太朗		委員	木村 博		委員	清水 野分	
委員	壇 輝樹		委員	坂本 真士		委員	谷川 一俊	
委員	柄本 穰		委員	芝田 裕也		委員	藤野 智	
委員	疋田 泰種		委員	森本 大介		委員	宮崎 謙介	
青少年育成委員会		8	JC運動情報委員会		8	ビジョン会議		7
委員長	川口 順也		委員長	崔 祥龍		議長	伊東 紘典	
副委員長	渡辺 大樹		副委員長	谷口 直満		副議長	末田 博士	
幹事	阿部 清隆		幹事	中路 耕太		副議長	山本 博明	
委員	井上 展和		委員	岩井 泉二郎		議員	大筆 賢太郎	
委員	岩本 伸一		委員	黒川 昌哉		議員	波多野 裕人	
委員	岡本 知樹		委員	高井 茂行		議員	松宮 吾朗	
委員	神島 真吾		委員	堤 淳太		議員	山田 崇宏、	
委員	松本 正義		委員	中小路 健吾				
まちづくり委員会		8	会員拡大委員会		8			
委員長	河村 剛		委員長	南出 高志				
副委員長	水原 年貴		副委員長	足立 雅也				
幹事	岩下 正雄		幹事	谷川 聡				
委員	市川 宣広		委員	伊藤 武				
委員	小山 真司		委員	高下 一成				
委員	菜島 拓朗		委員	中 智哉				
委員	林田 士郎		委員	森 貫二				
委員	山本 一也		委員	和田 隆				

2013年度 公益社団法人乙訓青年会議所 出向者一覧

【公益社団法人日本青年会議所】

国家グループ 勇壮なる日本創造会議	議 員	伊 藤 武
国家グループ 勇壮なる日本創造会議	議 員	清 水 野 分
国家グループ 領土・領海委員会	委 員	大 筆 賢太郎
国家グループ 領土・領海委員会	委 員	谷 口 準
未来グループ 拡大委員会	委 員	松 宮 吾 朗

【公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会】

イノベーション創造委員会	委 員	岩 本 伸 一
イノベーション創造委員会	委 員	三 浦 靖
イノベーション創造委員会	委 員	森 本 大 介
地域災害ネットワーク確立委員会	委 員	齊 藤 寛 之
勇壮なる近畿実現委員会	委 員	神 島 真 吾
勇壮なる近畿実現委員会	委 員	塩 見 知 哉
勇壮なる近畿実現委員会	委 員	谷 口 直 満
勇壮なる近畿実現委員会	委 員	山 田 崇 宏、

【公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会】

	監査担当役員	坂 田 徹
勇壮なるJYACEE育成委員会	委員長	松 宮 吾 朗
勇壮なるJYACEE育成委員会	総括幹事	高 下 一 成
勇壮なるJYACEE育成委員会	会計幹事	壇 輝 樹
勇壮なるJYACEE育成委員会	委 員	藤 野 智
勇壮なるJYACEE育成委員会	委 員	森 貫 二
総務情報委員会	副委員長	波多野 裕 人
総務情報委員会	委 員	疋 田 泰 種
国際関係推進委員会	副委員長	伊 東 紘 典
国際関係推進委員会	委 員	阿 部 清 隆
国際関係推進委員会	委 員	奥 村 太 朗
国際関係推進委員会	委 員	菜 島 拓 朗
ブロック大会運営委員会	委 員	黒 川 昌 哉
ブロック大会運営委員会	委 員	谷 口 直 満
ブロック大会運営委員会	委 員	能 見 太 朗
公益財政委員会	委 員	末 田 博 士
公益財政委員会	委 員	山 下 純 平

## 特 設 委 員 会

### 1 会員選考委員会 開催回数 10回

委員長 三 宅 尚 嗣

副委員長 波多野 裕 人

委 員 谷 口 準

委 員 田 中 俊 幸

委 員 松 宮 吾 朗

委 員 南 出 高 志

### 2 選挙管理委員会 開催回数 2回

委員長 坂 田 徹

委 員 大 筆 賢太郎

委 員 高 井 茂 行

委 員 谷 口 準

委 員 山 田 崇 宏、

## 2013年度 公益社団法人乙訓青年会議所 褒賞受賞者

- 実質100%出席賞（19名） 岡村 猛、坂田 徹、谷口 準、田中 俊幸、三宅 尚嗣  
山崎 春樹、齊藤 寛之、山下 純平、大筆賢太郎、松宮 吾朗  
加藤 裕之、川口 順也、河村 剛、嶋田年比于、末田 博士  
谷口 直満、渡辺 大樹、岩下 正雄、能見 太郎
  
- 乙訓J Cグランドスラム 該当者無し
  
- 乙訓J C特別賞 該当者無し
  
- 出向者特別賞 松宮 吾朗
  
- 特別功労賞 坂田 徹 (理事長、ブロック役員、理事通算5年以上)  
高井 茂行 (理事長、日本J C役員、理事通算5年以上)  
谷口 準 (理事通算5年以上)  
山下 純平 (理事通算5年以上)
  
- 最優秀新人賞 中路 耕太
  
- 優秀会員賞 足立 雅也  
水原 年貴
  
- 最優秀会員賞 谷口 直満